

庁議記録（令和4年7月20日開催分）

《その他事項》

◆可児市総合戦略の推進 及び 令和3年度可児市総合戦略効果検証結果（案）について （企画部総合政策課）

令和3年度の地方創生推進交付金事業及び可児市総合戦略効果検証について説明するもの。

地方創生推進交付金については、県及び県内各市町村との観光連携事業（交付金額 771万円）を行い、観光入込客数等には一定の成果が見られた。

可児市総合戦略効果検証については、評価Cや評価不可の指標も散見されるが、これらは新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられ、今後数年はコロナ禍以前の数値にどれだけ戻していけるかが課題となってくる。

今後は、外部委員による「可児市まち・ひと・しごと創生推進会議」を経て、9月議会での説明を予定している。

【庁議での意見】

地方創生推進交付金については、他の分野でも対象となる事業がないか検討すること。

◆危機予見報告について

（総務部管財検査課）

7月13日に開札予定であった郵送入札による指名競争入札の契約案件について、全ての指名業者へ入札通知書が送信されていなかったもの。7月28日開札予定に変更したが、納期や競争性の確保には影響は生じない。

今後同様の危機が発生した場合、契約締結の遅延により業務期間内の業務完遂が見込めなくなる、または物品等の納入が期限に間に合わなくなる等により、市民サービスの低下に至る危険が予見されるため、事務手続きの手順の徹底や2人以上の職員による二重チェック体制とすることで、再発防止に努める。